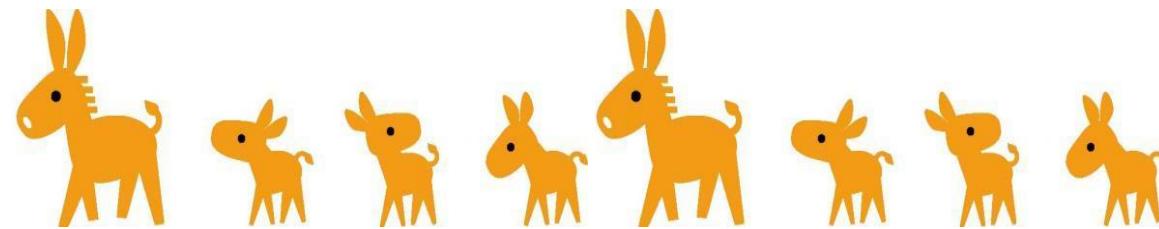


本人の声



買い物に行って、お金を支払うとき通常のレジは、お金を出すときになかなか支払いしにくいが、機械のレジだと財布にある小銭をザーッと入れたら、必要な金額をとってくれるから、楽。

70代男性

もの忘れのことを子どもからも言われ、不安。でもまだまだこの家で頑張りたい。

80代女性

頭の中がぐちゃぐちゃ。あまり考えないほうがいいと思うが、不安になる。みんなに迷惑をかけたくない。

70代 女性

車に乗りたい。免許を返したくな。

70代 男性

もの忘れが増えたことは自分も感じている。だから、将棋でトレーニングしている。

90代男性

日にちがわからなくなる。メモをするようにしている。でも、メモを見ても何のことか思い出せないことがある。悲しい。

80代 女性

1人でいるときは不安。自分がおかしい発言をしていないか、周りからどう思われているか不安。

80代 女性

認知症だからと言って、何もできなくなるわけじゃない。ボランティアも仕事もやりたい。

夫が仕事をしているときに手伝わないとと思っても
「せんてええ」と言われる。子どもたちにも「(手順)
が違う」と言われることがある。それでも大変なことを
しているから少しでも助けになればと思っている。

70代 女性

誰にでもは、自分が認知症であることを
言いたくないんです。みんなに言うと
「あの人気が・・・」と変なことを言う人
もいるでしょう。

女性

子どもには(病気のことを)言っていないので、迷惑をかけたら怖い。

70代 女性

ここ(通所リハ)はね、
叱られないからいい
の。自分の好きなよう
にできるから。

女性

先生(医師)に見放された気がし
て、どうせ治らないんだと思うと
つらくて・・・

電話では言葉が出なくて、話がそれ
そうで、話をする自信がない。

70代 女性

自分は認知症だと親しい人には伝えているん
だけど、この間、会った時に普通に話をして
くれたのがうれしかった。

女性

認知症があってもな
くとも、私は私。
毎日を楽しく生きて
いきたい。

自分が食事作りに自信がない
から人に食べてもらうのも作
るのも嫌。

70代 女